経済学演習 II

必修　　2単位

奥田　英信

1. 授業の概要（ねらい）

「新興市場経済（特にアジア）の金融問題」に興味のある人、このテーマで修士論文を書こうと考えている人を、想定した授業です。
経済発展における金融の役割について、マクロ面（経済成長と金融機能）とミクロ面（銀行、証券市場、企業）から学びます。
具体的な事例を用いて、基礎的な分析手法も学びます。

2. 授業の到達目標

①東・東南アジア諸国の金融発展について、課題を発見しそれを解決する方法を考え提案できる。
②言語能力と論理的思考力を高め、それを基にプレゼンテーションすることができる。
③他者との協働に参加し自分の考えを発表できる。
④東・東南アジア諸国の金融発展について、調査し発表できる。

3. 成績評価の方法および基準

ゼミでの質問・議論・報告への参加度（50%）と、期末に提出する研究計画書（50%）から、評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
奥田・三重野・生島　『新版 開発金融論』　日本評論社
参考文献
なし

5. 準備学修の内容

報告者は、相談して決めた文献・資料を丁寧に読んで、報告用のメモを作成してきてください。
それ以外の参加者は、疑問点をリストアップしてきてください。

6. その他履修上の注意事項

毎回、参加することが履修条件です。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：ゼミナールの進めかたを相談して、具体的な予定を決めます。以下は、暫定的な予定の一案です。
【第2回】　途上国の企業金融：資金調達
【第3回】　途上国の企業金融：ガバナンス
【第4回】　途上国の企業金融：東南アジア諸国の事例(1)
【第5回】　途上国の企業金融：東南アジア諸国の事例(2)
【第6回】　マイクロ・ファイナンス：インフォーマル金融とマイクロ・ファイナンスの仕組み
【第7回】　マイクロ・ファイナンス：事例研究
【第8回】　経済発展と海外資金の役割：民間資金と公的資金
【第9回】　経済発展と海外資金の役割：債務問題と援助
【第10回】　レポート（研究計画書）の作成：テーマの選択
【第11回】　レポート（研究計画書）の作成：アウトラインの報告
【第12回】　レポート（研究計画書）の作成：進行状況の報告
【第13回】　レポート（研究計画書）の作成：進行状況の報告
【第14回】　レポート（研究計画書）の作成：中間報告
【第15回】　レポート（研究計画書）の作成：最終報告